



さくら

足立区長 近藤 やい
 題字 足立区長 近藤 やい
 足立区民生・児童委員協議会だより

発行

足立区民生・児童委員協議会
 会長 市村 智
 編集 広報委員会
 発行日 2021年3月1日
 〒120-8510
 足立区中央本町1-17-1
 TEL 03-3880-5870



「コロナをやつけろ!!」 鹿浜第一小 4年 金窪 紗和 作

目次

各種表彰受賞者名簿	2
委員長・部会長紹介	3
部会長紹介	5
地域を訪ねて・他	5
地区別自主研修	6
令和2年度の活動	7
ぶらり足立	8
編集後記	

はがきが結ぶ「小さな絆」

足立区民生・児童委員協議会 会長職務代理 野辺 陽子



またしても、新型コロナウイルス感染防止策としての緊急事態宣言が発令されました。多くの活動は停止を余儀なくされ、ご多聞にもれず、民協の会議やイベントも全くといっていいほど中止となってしまいました。

手洗い・うがいは元より、マスクの着用・消毒・検温など非日常は、もはや日常と化してしまいました。このようなコロナ禍で、民生・児童委員として何をしたらよいのかの問いには、なかなか答えを出せませんでした。そんな時に他区の活動の紹介に、自分の担当している方々に往復はがきを書いて出すとありました。

足立区でもやってみたらと提案をして、五百余人の民生・児童委員に10枚ずつの往復はがきを配布し、それぞれに書いて投函してもらうことになりました。安否を問うたり、不安を解いたり、励ましの言葉を書いて…。

電話では、お年寄りの方などは留守番電話にセットされていたりして、万一電話口に出たとしても、悪徳商法の手口と思われ、こちらから民生・児童委員を名乗る間もなく電話を切られるのが関の山かも知れません。

それであればやはり往復はがきが妥当かということになった訳です。

実際にはがきを書いてみて、果たして返信が来るのかと心配していましたが、何日かして4人の方からのお返事がありました。「配偶者が入院した」「引越して〇〇に居る」「相変わらず巣ごもり状態だ」など近況が報告されていました。しかもそれぞれの方が文末に「ありがとう」のひと言が添えられていたのには感動いたしました。

いつ終息するのか先の見えないこのコロナとの戦いではありますが、二度目のおたよりを書いてみようと思っています。



令和二年度 民生・児童委員各種表彰受賞者名簿 敬称略

厚生労働大臣表彰

(基準日 = 令和元年11月30日現在)

定時表彰

退任者で在職20年以上、または73歳以上の方であって在職15年以上の方

※ 但し、過去に大臣表彰（一般・随時・特別）を受賞された方を除く（22名）

長塚 敏子	赤川 春恵	疋田 規子	坂野 正章	森 春枝	秋葉 和江	榎本のり子
大庫 悦子	小金井堅治	堀家 幸子	藤野 俊子	栗原 和子	大久保柳子	鶴池 孝子
内藤 久子	館山 慶子	江川せつ子	丸山まさ子	桑原美恵子	高橋登志子	山下 節子
浅古 有文						

東京都知事表彰

(基準日 = 令和2年10月1日現在)

規則表彰

在職20年以上の方（1名）

清水あけみ

一般功労

在職10年以上の方（6名）

高橋 典子 小林 眞澄 澤村千津子 島田 桂子 金井 優子 浅香 博子

全国民生委員児童委員連合会会長表彰

(基準日 = 令和元年11月30日現在)

永年勤続退任者表彰

退任者で在職15年以上の方（33名）

長塚 敏子	大久保柳子	赤川 春恵	疋田 規子	小久保 隆	坂野 正章	鶴池 孝子
高田八重子	内藤 久子	森 春枝	鈴木紀代美	溝呂木節江	秋葉 和江	榎本のり子
長尾 幸江	松浦美佐江	大庫 悦子	館山 慶子	江川せつ子	原田やよひ	丸山まさ子
小金井堅治	福岡佳須子	小口よし子	山本 祥一	堀家 幸子	桑原美恵子	関根 恵子
高橋登志子	山下 節子	浅古 有文	藤野 俊子	栗原 和子		

永年勤続

在職10年以上の方（4名）

佐藤 和子 杉田 直子 柴田枝美子 濱田 曜子

東京都社会福祉協議会会長表彰

(基準日 = 令和2年10月1日現在)

東社協会長表彰

在職9年以上10年未満で功績顕著な方（1名）

木内 信雄

足立区表彰

(基準日 = 令和2年10月1日現在)

社会福祉功労

在職10年以上で功労顕著な方（6名）

高橋 典子 小林 眞澄 澤村千津子 島田 桂子 金井 優子 浅香 博子





委員長・部会長紹介

【広報委員会】

益塚 賢治 委員長



この度、令和元年11月の改選で鶴田前委員長から引き継ぎ、委員長を務めさせていただくことになりました。広報紙「さくら」は民生・児童委員活動の記録史であると位置づけられています。新たにカラー化され

た特徴を生かし読みやすく、親しみやすい広報紙「さくら」を作っていきたいと考えております。昨年は、新型コロナウイルス感染症による全体の活動自粛の中、民生・児童委員の記録を残すため広報委員会の活動を続けてまいりました。これからも民生・児童委員活動の実績を広く掲載し残していくため広報委員一同、より良い広報紙「さくら」を目指して取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。

【子育て支援研究部会】

数山あかね 部会長



誰もが経験したことのないこのコロナ禍で私たちの生活様式も大きく変化をしています。

子育ての環境においても様々な影響があり多くの問題も生じている様に思えます。子育て支援研究部会で

は『子育ての現在の状況を聞いて知り、実際に自分たちの目で見えた現状の課題について考える』という流れを1年単位で行う計画です。

最終的に地域の子育て支援につながる事ができれば良いと思っています。部会活動が初めての方も多く、私自身も部長の大役に慣れぬ事ばかりですが、部員25名で和気あいあいとした雰囲気大切に、活動を進めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【主任児童委員会】

首藤 広行 委員長



主任児童委員は、小・中学校と連携しながら、児童健全育成のため活動しています。昨年から続くコロナ禍でも、子ども達が元気に登校をする姿を見ると嬉しくなります。しかし、先生方からは、リモートによる

授業や、ソーシャルディスタンスを取るのにひと苦労だとお聞きしました。学校生活も様変わりして、色々と制限のある中、奮闘されています。

我々主任児童委員も、児童虐待・登校拒否・子どもの貧困と、様々な課題に直面するなかで、ケースに応じ関係機関と連携を図り、皆様のご協力を仰ぎながら、対応していきたいと思ひます。

保護者の皆様も、不安やストレスを抱えていると思いますが、主任児童委員が聞き役になり、不安の解消に少しでもお役に立てる様、一人ひとりが自覚をもち、また、新型コロナウイルス感染症対策もしながら、取り組んでいきたいと考えています。

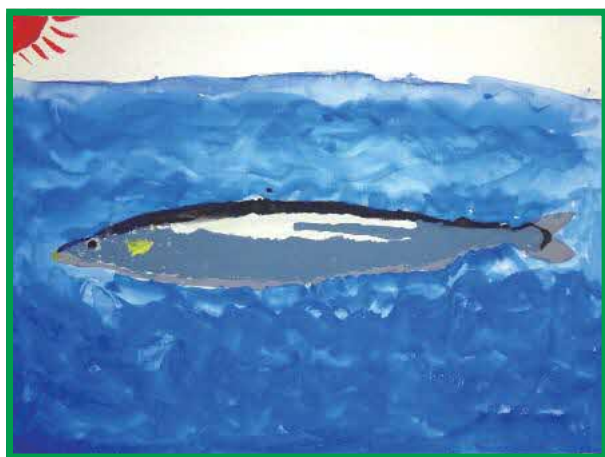
【児童福祉研究部会】

金子みどり 部会長



令和2年は、新型コロナウイルスの影響で活動自粛のため、部員の皆様との顔合わせもできないまま10か月が過ぎてしまい10月20日に第一回目の役員会を開くことが出来ました。

新型コロナウイルスによる生活の変化・雇用・経済・日常生活の不安や児童虐待・育児放棄など児童のおかれた環境のなかで、子ども達が心穏やかに健やかに育っていけるように民生・児童委員として、どのように活動すればよいのか川上相談役にご指導いただきながら部員の皆様と共に学んで行きたいと思ひます。



「秋のさんま」

鹿浜第一小 5年 ナドンガ・アキーラ 作



「カラフルなでんせつの城」

鹿浜西小 4年 高野 琳愛 作



部 会 長 紹 介

【障がい者福祉研究部会】

菊池 孝子 部会長

北海道利尻島出身、涙もろく逆境に強い頑張り屋だと思っています。

コロナ禍中、やっと9月中旬に第一回会議が開催されました。自己紹介時には「実は家族に障がい者がいます」と苦しい胸中を打ち明けて下さった方もいました。

私は委員の話にマスクの下で泣いていました。私自身も子供が心臓病障害で誕生、シングルマザーになりました。息子は2度の手術を受け、現在は社会人になりましたが、治った状態ではありません。私は「七転び八起き」どんと構えて頑張っていきます。委員の皆様と一緒できることに感謝の思いです。

今年度のテーマは

- ・1年目：研修や施設見学を通し障害について理解を深める
- ・2年目：障がい者の家族の実態を知る

【高齢者福祉研究部会】

阿部 幸子 部会長

コロナ禍で活動ができない日々が続いていましたが、10月に初めて部会を開くことができました。部員の自己紹介で高齢者の現在の環境、災害時の避難、情報伝達、施設の利用などについて学びたいと意見がありました。

今後のテーマを『高齢者の現状とコロナ禍における取り組みについて学ぶ』『高齢者が暮らしやすいまちづくりを学ぶ』と決め、今後内容を検討しながら、高齢者の方に寄り添い、適切な助言、サポートができるよう研修したいと思います。学んだことを地域での活動に役だてるため全員で力を合せていきたいと思っています。

【生活福祉研究部会】

名取 恵 部会長

新型コロナウイルスは急速に地球規模での拡大の動きを見せました。マスク・手洗い・消毒・換気と見えない恐怖との戦いです。

多様な業態で経済的影響が出始め、ほとんどの行事は自粛をされました。

区長以下、福祉部や社会福祉協議会にも切迫した相談が寄せられている状況です。医療従事者の皆様、行政職員には頭の下がる思いです。

この状況下、町会自治会長、民生・児童委員、絆のあんしんネットワークのご協力のもと、様々な問題で困窮する世帯の心の叫びを発見し、人として生きられるような支援に結びつけられたらと考えます。部会員の皆様の慎重なる活動と、全ての区民の皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

【コーラス部】

南 純代 部会長

平成26年の結成以来、足立区合唱祭、都民連コンサート、民生・児童委員全員研修会等々、様々な舞台で歌声を披露して参りましたが、今年度の活動は、コロナ禍のため、4回の練習のみでした。

未だ練習再開の見通しも立たず、新しい練習様式を模索中です。大声を出す事リスク、密の問題、寒さ暑さの中での換気の方法等々、課題の解決と安心安全のコーラス活動を目指しております。そして世の中が大変な状況だからこそ、希望の歌声をお届けしたいとの思いもつのり、一日も早いその日を祈るばかりです。

今後とも葦立コール『絆』へのご支援ご協力を心よりお願い申し上げます。

中学生俳句コーナー

窓を見て 星空かがやく 冬の空
二年 宮尾 幸美

紫陽花に 水がしたたる 雨上がり
二年 河村 もも

年越しに 皆で鳴らす 除夜の鐘
二年 川崎 大

町中を 紅に染める 紅葉たち
二年 松川 未脩

ひまわりが 風にゆれてる 青い空
二年 小山 優香

花香る 桜の花びら 舞いおどる
二年 中野 永景

帰り道 真っ赤なじゅうたん 秋感じ
二年 久坂 百花

教室の 窓からのぞく いちようの葉
二年 木下 春菜

雪つもる 冬の空には 月一つ
二年 遠藤 蒼依



「地域を訪ねて」 前保木間親睦町会いきいきクラブ 公園お掃除部

当クラブは平成 29 年 5 月に「前保木間親睦町会老人部」から「前保木間親睦町会いきいきクラブ」と名称を変更し、相互の親睦と健康の増進を目的として新たにスタートし日々活動しています。

平成 29 年 6 月より公園の清掃活動に従事しています。「西保木間一丁目公園」と「西保木間一丁目児童遊園」の 2 か所を 20 名の部員が 3 班に分かれて、1 週ごとに順番制で活動しています。4 月～9 月は午前 9 時から、10 月～3 月は 9 時 30 分から毎回 30 分程度ですが、落葉の時期にはもう少し時間がかかります。

公園の隅には清掃用工具箱が設置されています。いつでも、誰でも気が付いたときに掃除ができるように鍵はかけていません。設置して一年以上経ちますが、いたずらや盗まれた事も無く維持されています。

令和 2 年 2 月より新型コロナウイルスの感染が拡大し、未だ収束する気配がありません。ほとんどの活動

が停止になりましたが、清掃活動は町内の美化活動の一環として中止することなく、マスク着用、ソーシャルディスタンスを守り、頑張っています。

(いきいきクラブ代表 中久喜正幸 記)



▲御年 88 才の中久喜代表とお掃除部の皆様

「子どもたちはいま」 コロナ禍での心の教育 千寿桜小学校

「その一言が、心の闇に光をともし」

「いやがらせ、その子は本気で笑ってる？」

本校では、昨年 11 月 9 日から 12 月 9 日までの期間を「人権月間」として、人権についての学習を深めました。その期間の取り組みの中から 2 点紹介します。

1 つ目は、「人権標語」の作成と発表です。各学級での話し合いにより上記のような人権標語を決定し、人権集会で発表するのです。例年なら、体育館に全校児童が集まり、各学級代表児童が人権標語を発表し、みんなで聞き合います。しかし、今年度はコロナ禍で体育館に全員が集まることはできません。そこで、代表児童だけが音楽室で発表を行い、その模様をネット中継により各学級で見聞きするように工夫しました。



▲「人権標語発表 ネット中継の様子」

もう 1 つの取り組みは「さくら ゆうびんきょく」です。コロナ禍においては縦割り班活動も制限されています。異学年との交流が少ない中で、お手紙での交流を考えました。各教室（校長室、職員室、主事室等も含む）に郵便番号を割り当て、校内数か所に設置されたポストに専用葉書を投函するのです。回収と配達 は 2 年生の担当です。新しい生活様式では、何でもリモート、オンラインという風潮ですが、手書きの葉書をもらうとなぜか心温まるものがあります。

これらの活動を通して、互いを思いやる心や、いじめを許さない態度を身に付けていきます。

(足立区立千寿桜小学校長 田村正弘 記)



▲「さくら ゆうびんきょく」



江新地区 =水害に備えて=

私たち江新地区は荒川と隅田川に囲まれた地域で、荒川が氾濫した場合は、家屋崩壊など氾濫想定区域にあります。一度氾濫すると何週間も水が引かず、ハザードマップを見て失望しました。令和元年の台風19号の時には、多くの人が避難所にこられた経緯や避難所の開設の遅れ、水害時に指定された避難所が無く慌てた経験もしました。そんな事もあり水害については、大きな関心を持っていました。令和2年10月9日折しも台風14号が日本に接近しつつある中での研修となり、講師の足立区災害対策課下川係長のお話に真剣に耳を傾けました。

区の水害対策や、令和元年の台風における課題と避難の手順など分かりやすい資料での説明がありました。

民生・児童委員として水害時には躊躇することなく、自分と家族の安全を第一に行動し、要支援者に対しては、日頃の見守り時に地震防災との違いや、ある程度予測が出来るので、1～3日前の準備、避難先（親戚や協力者）への連絡をとるよう呼び掛けること、特に現在は新型コロナウイルス感染症等の予防から避難所は最終的な避難場所と考えて、分散避難する事などを確認しました。講

演後には活発な意見や質問が出され、区とコミュニティとの連携や相互協力が必須となることが確認できました。また、西部福祉課長からも補足説明や助言を頂きました。

最後に私たち江新地区独自の民生・児童委員の無事を知らせる「黄色いリボン」を家の目立つところに結ぶことを再確認し、これからも、地域と連携された防災意識を高めて行きたいと考えています。

(江新地区会長 茂出木直美 記)



東栗原地区 =地域包括支援センターとの連携=

令和2年10月29日、東栗原地区の自主研修がエルソフィアで行われました。

地域包括支援センター・社会福祉協議会・区役所民生係などから講師としてご参加いただき、コロナを予防しながらどのように地域の方々と接したらよいのか伺いました。

地域包括支援センターには、社会福祉士・保健師または看護師・主任介護支援専門員が在籍し健康・介護の相談だけでなく、物忘れや虐待の相談なども対応してくれるそうです。(訪問も可)

民生・児童委員、協力員として普段からアンテナを張り、少しでも異変に気付いたら情報を積極的

に集め相談して一緒に対応を考えるようにしましょう。

サロン活動なども思うようにいかないと思いますが少人数や屋外で行うなど、見守りや訪問は事前に電話で確認してから伺う。顔は合わせなくても何か困っている事や、わからない事があったら、連絡してくださいとメモを残す必要を感じます。

健康寿命（自立して健康な生活ができる）を伸ばすためフレイル（加齢により筋力や心身の状態が低下する）の予防・回復にみんなで頑張っていけたらよいと思いました。

(東栗原地区 西野いちよ 記)

18地区 =生活保護の動向=

令和2年も残り僅かとなった10月27日、18地区では今年度初めて自主研修が実施されました。坂井会長の挨拶で始まり、鶴田副会長の司会で今回は、足立福祉事務所の東部福祉課調整担当の佐々木係長がお話をしてくださいました。

テーマは「最近の生活保護の動向について」です。

管内の概要は、人口構成比較で

【生産年齢人口＝15歳～64歳：64%】

【前期高齢者＝65歳～74歳：11%】

【後期高齢者＝75歳～：13%】

足立区は紛れもなく超高齢化となり被保護世帯人員が北九州市と同じと聞いて驚愕しました。

このコロナ禍で相談・申請も増え、令和2年の4月には951件を数え世帯別に見ると、高齢単身者が50%、高齢複数世帯が6%と、全体の56%を占め驚くべき数字です。

住宅確保給付金（住居の家賃補助金）の相談件数も5月をピークに増えました。コロナ禍で収入が減少したため1500名がこの制度を受けているそうです。尚、6月迄のこの制度が3か月延長されました。

今では大学も沢山あり、北綾瀬まで千代田線が伸び、私達民生・児童委員も、足立区が住み良い町になるように微力ですが頑張る事を確認して、自主研修を終了しました。

(18地区 佐藤和子 記)



北鹿浜小
5年 松本 咲穂 作
「海の中のかめ」



令和2年度足立区民生・児童委員協議会の動き



	当初の予定	実際の動き
4月	各地区別自主研修	中止
5月	P R 週間事業	平日のパネル展示のみ実施
6月	会長協議会視察研修	中止
	足立区民生・児童委員協議会総会	書面開催に変更
	ケースワーカー懇談会	中止
7月	熱中症予防のための戸別訪問	電話による啓発活動までにとどめた
8月	全員研修会・夏季懇親会	中止
9月	敬老祝い品贈呈事業	対象者のお宅への訪問を見合わせ、区役所より郵送にて贈呈
10月	合同地区協議会視察研修（日帰り）	各地区別自主研修に変更
	赤い羽根共同募金活動	駅頭での募金活動は行わず、9月期合同地区協議会で民生・児童委員からの募金を募った 募金総額：546,170円
11月	オレンジリボンキャンペーン	中止
	要保護児童対策地域協議会地区連絡会議	書面開催に変更
	ケースワーカー懇談会	中止
	東京都民生・児童委員大会	中止
12月・2月	各地区別自主研修	飲食を伴う会合は避けて実施
1月	会長協議会・合同地区協議会（新年会）	中止
2月	各種表彰受賞者祝賀会	3月に延期し、縮小開催の予定
3月	こころの健康フェスティバル バザー出店	中止

コロナ禍での新たな取り組み

▶ 往信用



◀ 返信用

民生・児童委員が80歳以上の独居高齢者などを対象に、往復はがきによる交流を図りました。
実施時期：12月～2月



主任児童委員が担当する学校へ訪問し、主任児童委員ポスターと保護者向けチラシを配布しました。
実施時期：12月～2月



「ぶらり足立」 シャボン玉メモリアルリバーズ



「シャボン玉でみんな繋がろう」

「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」は平成24年、足立区制80周年記念事業をきっかけに、アートを用いた新たなコミュニケーション（縁）の繋がりを生み出すためにはじまった、市民参加型の「まちなかアートプロジェクト」です。その中の1つ、Memorial Rebirth 千住（通称メモリバ）は空間いっぱいのシャボン玉で、見慣れた風景を変えてしまう現代美術作家・大巻伸嗣氏によるアートパフォーマンスです。平成23年にスタートし小学校や公園など毎年場所を変えながら、区内でリレーのバトンのように手渡されてきました。昨年4月に舎人公園にて開催予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により中止となりました。ですがメモリバを支える市民チームのメン

バーはオンラインで繋がりながら、次の本番に向けて話し合いを続けています。

昨年10月18日アーティスト・クロストーク（オンライン）「大巻伸嗣×地域アート？『アートなんてわかんねえ！』」が東京藝術大学千住キャンパスにて開催されました。市民メンバーとして、千住在住の吉川和宏氏と共に私もトークに参加しました。新しい生活様式を取り入れながら地域と地域のバトンを繋ぎ、シャボン玉アートを通して地域の繋がり（縁）が広がっていく事を願っています。

（15地区 高橋純子 記）



足立区は活動記録提出率100%継続中です

〈計報〉 第三合同 10地区主任児童委員 藤波 光昌（フジナミ ミツマサ）委員
第六合同 洲江地区 登坂 光男（トサカ ミツオ）委員

逝去。ここに謹んで哀悼の意を表します。

編集後記

新型コロナウイルスの感染拡大により、数か月の自粛期間を経て、ようやく広報委員会が再開しました。7か月ぶりにメンバーに会うことができ、会議全体は活気に満ち何とも表現できない気持ちになりました。

今後も最高のモチベーションを維持しつつ「さくら」をより良い作品に仕上げるために、広報委員が一丸となって取り組んで参ります。ご期待ください。

（18地区 富澤久男 記）

- 小学生掲載絵画および中学生詩歌、俳句の依頼は、第一合同から第七合同の小・中学校に順番にお願いしております。
- 原稿に関しては紙面の都合がございます。事前に地区広報委員にご相談ください。
- 皆様の原稿を募集いたします。（原稿は未発表のものに限ります） 次号発行予定日 7月1日

広報委員会

委員長 益塚 賢治	副委員長 齋藤 祐子	書記 高橋 純子	会計 小川 玲子	編集長 鈴木 健治	副編集長 金宮 和代	レイアウト 吉田 祐一	矢澤 敏一	校正長 足立 由美子	編集委員 杉本 和子	今井 幸則	鈴木 博	渡邊 進	吉澤 博	木村 克博	佐藤 恒男	鈴木 恒男	校正委員 芦田 利恵	富澤 久男	坂井 成子	桐田 幸一郎	鶴岡 一夫	土屋 幸枝	神野 松江	齋木 安江
--------------	---------------	-------------	-------------	--------------	---------------	----------------	-------	---------------	---------------	-------	------	------	------	-------	-------	-------	---------------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------